

書名 地方政治と教育行財政改革
著名 日本教育行政学会研究推進委員会 編
ISBN 9784571101595 C3037
出版年月日 2012年6月20日
本体価格 本体3,600円＋税
出版社 福村出版

目次

序章 地方教育行財政の改革と変容(荻原克男・村上祐介)

第1部 改革はなぜ、どのように起こったのか？

第1章 アイディアの変化はいかにして教育行政改革にむすびついたのか
(徳久恭子)

第2章 地方政治と教育委員会—革新の退潮と無党派の台頭は何をもたらすか
(砂原庸介)

第3章 アメリカ学校財政制度研究と義務教育財政システム(竺沙知章)

第2部 改革によって何が変わったのか？

第4章 教育再生と教育委員会制度改革——「福音」と「逆説」(伊藤正次)

第5章 首長による教育政策への影響力行使の態様変化——教育行政学のセ
レ

クシオン・バイアス問題(青木栄一)

第6章 「改革」は制度運用に何をもたらしたか——教員人事行政を例に
(川上泰彦)

第7章 教育行政への「改革」のインパクト(金井利之)

第3部 教育行財政の実態をどう理解するか？

第8章 国際比較から見た教育行財政制度——新たな事実認識の解明
(渡辺恵子)

第9章 教育委員会制度改革論の再検討(村上祐介)

第10章 義務教育財政の比較分析——国—地方—学校の権限・財源配分と
「分

権論」(末富芳)